

AI T.hibaPRO

汎用自動導入ドライブコントローラー

SharpStar Mark3 専用 設定アプリ

Manual

概要

Althiba 3 GPS モデル/AlthibaPRO モデルの機能設定をするアプリとなっております。

Althiba シリーズは機種ごとに工場設定しておりますが

ギア設定を変更することにより汎用性ドライブとして運用することが可能です。

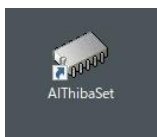
WIFI モジュールがビルトインされており

SSID やパスワードを任意で切り替えることが可能となっております。

目次

モーターギア設定タブ	4
日時/観測地タブ	5
動作制限項目タブ	6
運転動作タブ	7
WiFi 設定タブ	8
工場出荷設定	9

インストールと起動方法

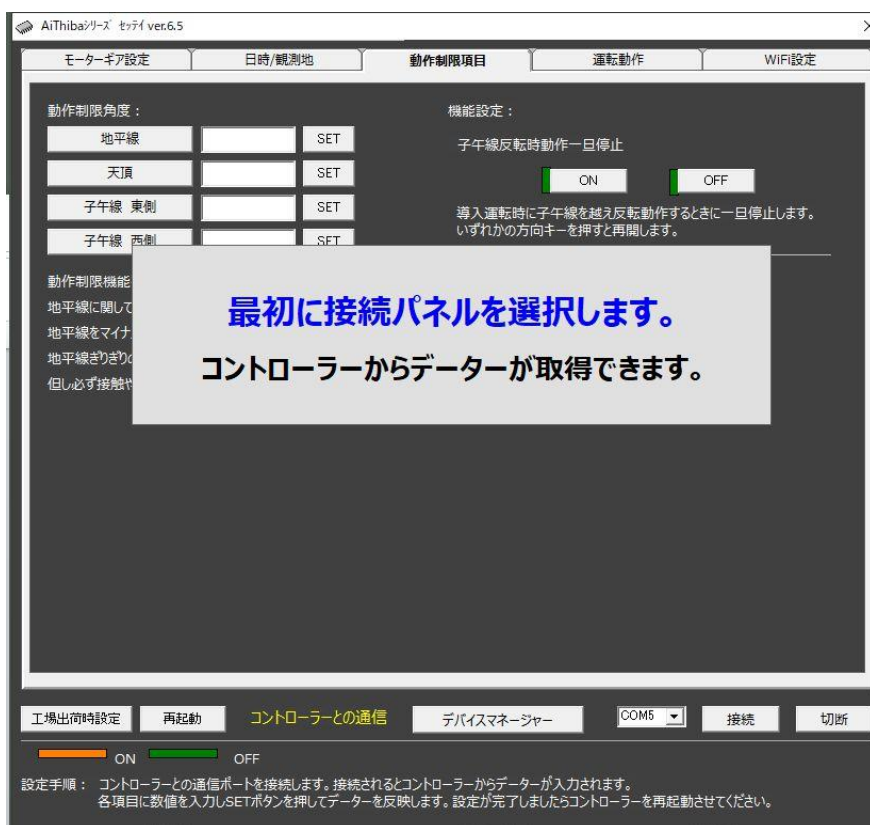


AIThiba 設定アプリをインストールして立ち上げます。



ダウンロード先 <http://www.miekuwana.net/astro/product/AIThiba/Althiba5set.zip>

起動画面



コントローラーを USB で接続します。

設定アプリを起動しますと接続のメッセージが表示されます。

コントローラーの USB ポートがわからない場合は

デバイスマネージャーボタンを選択して USB ポート番号を事前に調べます。

準備が出来ましたら

「接続パネル」を選択します。

コントローラーからピープ音が鳴り数値が表示されましたら読み込み完了です。

モーターギア設定タブ



- モーター回転方向はブリー側から見て+が時計回り-が反時計回りになります。

赤経+/赤経-：赤経モーターの回転方向を変更します。

赤緯+/赤緯-：赤緯モーターの回転方向を変更します。

- ギア/ベルト調整

※バックラッシュはギアなどの遊びを発生する場合モーターを逆回転させたときに補正する機能です。

数値を変更し逆回転させたときにタイムラグが少なくなるように数値を変更させます。

数値が大きくなるほど補正值は大きくなります。最大値は5です。

- モーターギア設定

赤道儀に合わせたギア等の減速パルス数の設定表示です。

Althiba シリーズはあらかじめ工場設定により機種に合わせた設定がされています。

赤道儀のウオーム歯車の歯数×中間ギア（ベルトプリー）×モーターの1回転のステップ数／360

変更する場合は上記の計算で数値を求めます。SET を選択し再起動を選択します。

- 導入スピード設定

電源電圧をチェックします。（必ず行ってください）

DC24V の場合は 100% DC12V の場合は 80%に制限されます。

自動導入のスピード設定です。対恒星時の倍率も自動計算されます。

設定内容は保存されます。（ASCOM ドライバー使用時はドライバーによって上書きされます。）

寒冷地や積載重量が多い場合などに発生するステッピングモーターの脱調症状が現れた場合は

スピードを遅く設定し脱調症状を改善させます。

※バックラッシュ 機械などにおけるねじ、歯車の隙間

日時/観測地タブ

- 日時： コントローラーの内部時刻を表示します。**UTC 表示になります。**
SET を選択することによってパソコン内部時計とコントローラーが同期します。
GPS レシーバーを内蔵している機種は自動で日時と場所を設定しますが数値が違っている場合は「GPS 再捕捉」を選択することにより再捕捉が行われます。
- 観測地情報:観測地の緯度経度を入力します。正確に入力しないと導入精度に誤差が生じます。
UTCOFFSET は自動で設定されませんので必ず設定が必要です。
日本国内の場合は+9 を入力します。

日時と観測地情報は内部電池により保持されます。

電源を入れた際、現在時刻と変わっている場合は内蔵電池の消耗により

日時の保持が出来なくなった可能性があります。

内蔵電池の交換をお勧めいたします。

設定後は再起動が必要になります。再起動ボタンを選択します。

動作制限項目タブ

AiThibaシリーズ セットアップ ver.6.5

モーターギア設定 日時/観測地 **動作制限項目** 運転動作 WIFI設定

動作制限角度：

地平線	+0	SET
天頂	90	SET
子午線 東側	0	SET
子午線 西側	0	SET

動作制限機能をONにすると各角度に達すると運転が一時停止します。
地平線に関しては動作制限機能の有無にかかわらず制限されます。
地平線をマイナス表記しておくことで
地平線ぎりぎりの天体を導入することが可能です。
但し必ず接触や干渉を確認してください。

機能設定：

子午線反転時動作一旦停止

☒ ON ☐ OFF

導入運転時に子午線を越え反転動作するときに一旦停止します。
いずれかの方向キーを押すと再開します。

ビープ音 有無

☐ ON ☒ OFF

ビープ音をON/OFF出来ます。

工場出荷時設定 再起動 **コントローラーとの通信** デバイスマネージャー COM5 接続 切断

ON OFF

設定手順： コントローラーとの通信ポートを接続します。接続されるとコントローラーからデータが入力されます。
各項目に数値を入力しSETボタンを押してデータを反映します。設定が完了したらコントローラーを再起動させてください。

●動作制限角度：

鏡筒の接触などの干渉を避けるため、あらかじめ角度を設定しておき
自動導入運転を停止または反転させる機能になります。
数値は角度を入力します。SET を選択することにより数値が反映されます。
但し必ず接触や干渉を確認してください。

●機能設定

子午線反転時動作一旦停止：

導入時に子午線越え時に一時停止する／しないが選択が出来ます。通常は OFF です。

ビープ音 有無：

ビープ音を鳴らす／鳴らさないが選択できます。通常は ON です。

設定後は再起動が必要になります。再起動ボタンを選択します。

運転動作タブ

●モーター運転動作

モーター動作の運転、停止が出来ます。

●標準運転スピード

使用天体に合わせて運転のスピードが変更できます。

恒星時、月、太陽、星景モードです。

微速増減は大気差などでスピードが必要な時に速度の増減が出来ます。

運転が反映させるのは電源を切るまでで

本体の電源を入れると恒星時運転に戻ります。

●方向キースピード設定

コントローラーの方向キーのスピードが変えられます。

設定内容は保存されます。

ガイドスピードと導入スピードは独立しています。

●HOME 運転動作

HOME ポジションに移動したい場合に使用します。

設定後はコントローラーの電源の入れなおが必要になります。

WiFi 設定タブ



●WiFi 設定項目:

使用チャンネル:

WiFi チャンネルは自動で変更されません。

他のアクセスポイントと干渉する場合は変更してください。

チャンネルは 1～9 です。

事前に Wifi Analyzer などでするチャンネルを調べると簡単です。

●アクセスポイント : (SkySafari と単独使用する場合等)

SSID : 各モードの SSID の名前 パスワードを設定します。

アクセスポイントで接続した場合、コントローラーの IP アドレスは 192.168.0.1 になります。

●ステーションモード : (ASIAIR やホームネットワークに接続する場合)

ステーションモードでの IP アドレスは ASIAIR やホームネットワークから DHCP (自動取得) で割当され、固定 IP アドレスとして再登録されます。

ステーションモードとアクセスポイントは共存できませんので

起動時はそれぞれのモードを選択する必要があります。

設定後はコントローラーの電源の入れなおしが必要になります。

工場出荷設定

工場出荷時設定

再起動

コントローラーとの通信

デバイスマネージャー

COM5

接続

切断

ON

OFF

設定手順： コントローラーとの通信ポートを接続します。接続されるとコントローラーからデータが入力されます。
各項目に数値を入力しSETボタンを押してデータを反映します。設定が完了しましたらコントローラーを再起動させてください。

工場出荷状態に戻したい場合は工場出荷時設定パネルを選択します。

実行されると自動で再起動します。